

**一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会**  
**プライマリ・ケア認定薬剤師研修会＋生涯学習委員会共催**  
**「ドクターG と学ぶ総合力・診断力・協働力」**  
**「薬局でトリアージ！ どうする？ こんな症状の相談」**  
**(大阪 2017 年 10 月 9 日 月曜日・体育の日) ご案内**

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号 P02)を取得いたしております。】

ドクターG 鈴木富雄先生と教室の三澤美和先生、島田史生先生をお招きして「ドクターG と学ぶ総合力・診断力・協働力」、「薬局でトリアージ！ どうする？ こんな症状の相談」のテーマで四つのご講演をいただきます。

医療職としての薬剤師に必須・不可欠な「総合力・診断力・協働力」を総合診療医と共に学ぶ絶好の機会です。奮ってご参加ください。

生涯学習委員会との共催ですので、参加の医師にも単位付与があります。

(細則による必須領域: A,C,D,F,I,J )

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会 + 生涯学習委員会
2	研修開催日	平成 29 年 10 月 9 日(月・体育の日)
3	研修会場	新大阪丸ビル別館 4階 533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-18-22 案内図 <a href="http://marubiru-bekkan.com/access.php">http://marubiru-bekkan.com/access.php</a>
4	認定単位	薬剤師:4 単位 (認定薬剤師単位)、医師:5 単位(更新のための医師単位)を付与
5	受講資格	薬剤師、医師、医療職、医療関係者
6	定員	72名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成 29 年 9 月 27 日(水)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受け付けておりません。
8	受講振込	申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 9,000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
10	情報交換会 (先着 30 名)	<b>10 月 8 日(日)</b> 16 時 45 分より 会場:ホテル新大阪 琥珀の間 で開催します。希望者は受講申し込み時にお申し込みください。参加費 4,000 円。(開催日時にご注意ください) <b>※10 月 8 日(日)の研修会受講申し込み時に、情報交換会へ「参加」とされた方は、重複して申し込みされないようご注意ください。</b>
申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 <a href="mailto:jpca@a-youme.jp">jpca@a-youme.jp</a>		

# プログラム

2017年10月9日(月・体育の日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<p>① 「総合診療医とは」</p> <p style="text-align: right;">講師：鈴木 富雄</p> <p>いよいよ来年度から新専門医制度が始まります。今までの専門医は学会が独自に決めており、質の基準も様々でした。また、その数は100以上もあり、細分化しすぎており、一般の方々どころか医療者でも正しく理解できていませんでした。それを是正するために、日本専門医機構が発足し、19個の基本領域が決められ、「総合診療専門医」が、新たな専門医としてこの19番目に加わることになったわけです。では「総合診療って何？」と聞かれると皆さんはどう答えますか？一時間目は、私(鈴木)の総合診療医としての道筋を、あからさまに開示(笑)させていただきながら、皆さんと一緒に考えてみましょう。 (細則による必須領域：A, D, I, J)</p>
11:00～12:30	<p>② 「臨床推論」</p> <p style="text-align: right;">講師：鈴木 富雄</p> <p>2時間目は、「臨床推論」という部分に焦点を絞ってみましょう。医師はどのようにして診断をつけるのでしょうか？私も以前は、自分の頭の中がどうなっているのか考えたこともありませんでしたが、学生や研修医を指導する立場になると、彼らと自分たちのような経験のある医師では、診断を考える時に何が違うのか？ということに関心を抱くようになりました。最近では「認知心理学」という学問分野の発展もあり、百戦錬磨のベテラン臨床医がどのように診断をつけているのか、そのプロセスが少しわかってきました。この時間は、そんなお話を皆さんと共有して、楽しく考えていきたいと思います。 (細則による必須領域：A, D, J)</p>
12:30～13:20	昼食(各自お取りください)
午後のテーマ『薬局でトリアージ！どうする？こんな症状の相談』	
13:20～14:50	<p>③ 「めまいの訴えにこっちがめまい・・・『めまい』のトリアージ」</p> <p style="text-align: right;">講師：島田 史生</p> <p>「なんかめまいがするんや～」という患者さんは多くいます。「めまい」と一言でいっても、「ふわふわ」「ぐるぐる」「倒れそう」など様々。薬局で訴えられても・・・とめまいにならないで対処できるよう、どんな聞き取りで「危ないめまい」と「様子をみていいめまい」をわけたいのか考えてみたいとおもいます。医師にとっても「めまい」は苦手意識の高い訴えです。いっしょに「めまい」を乗り越えましょう。 (細則による必須領域：A, C, D, J)</p>
15:00～16:30	<p>④ 「不眠の訴えに夜も眠れない・・・『不眠』をどう見る？考える？」</p> <p style="text-align: right;">講師：三澤 美和</p> <p>「最近寝られへんねん」「眠剤もらっているけど効かへん」「どの睡眠薬が強いの？」「飲まないで眠れないけど毎日飲んでいいの？」などの訴えは薬剤師さんを悩ますこととおもいます。「不眠」にはどんな原因があり、どのように言葉をかけることができるのでしょうか。危ない不眠ってあるの？薬の依存性ってどう考えるの？みなさんの疑問に答えながら「不眠」の訴えの対処法を考えてみたいとおもいます。これで安眠、明日から不眠の訴えもこわくない！ (細則による必須領域：A, C, D, F, J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

## 【講師紹介】

鈴木 富雄	大阪医科大学 地域総合医療科学寄附講座	特任教授
三澤 美和	大阪医科大学 地域総合医療科学寄附講座	特任助教
島田 史生	大阪医科大学 地域総合医療科学寄附講座	特任助教

(敬称略)